



鹽竈神社

発行所 〒985-8510 塩竈市一森山一番一
志波彦神社 鹽竈神社 社務所
電話 〇二二(三六七) 一六二(代)
FAX 〇二二(三六五) 五五三〇
<http://www.shiogamajinja.jp/>

祭 総 拔



明治天皇御製(明治三十八年)

秋の夜の月にむかひて祈るかな

國の光のまさりゆく世を

長らく続いた猛暑から、静かに秋へと移りゆく。コロナの扱いが五類に移行し、半年が経過しようとしている。当社社においてもこれまで自粛していた社務所での直会を、七月の鹽竈神社例祭より再開している。

来る十月七日より三日間齋行される講社大祭においても、従前通りの形で直会を行う。全国から詣でる講員方をお迎えし、賑々しく齋行すべく鋭意準備を進めている。

もとより直会は潔斎^{けっさい}にて心身を清め、祭儀を終え、お下げした神饌物をいただく事で、正しく御神威を拝戴する神事の一環である。

鎌倉時代の貞永元年、執権北條泰時が定めた武家法「御成敗式目」がある。その中に「神は人の敬に依りて威を増し、人は神の徳によりて運を添ふ」との著名な定めがある。

崇敬者の心からの敬神の念が、大神様の御神威を益々昂じ、そしてその徳はやがて全国の氏子崇敬者へあまねく降り注がれる。くだんの「式目」の条文は、古来より続く神と人、神恩と奉斎を今に伝える大切な「教え」ではないだろうか。

志波彦神社遷座記念祭 並びに氏子崇敬会秋季大祭



昭和13年の遷座祭

が、国費により造営されました。

その年の九月二十八日夜、鹽竈神社別宮と竣工なった新社殿を雨儀廊で結び、志波彦大神の御神霊が遷座されました。

近代神社建築の粋を集めて造営された神社殿は厳格な趣に満ち、昭和三十八年に塩竈市の文化財に指定され、今年で六十年となります。

この度、市内崇敬者からの御篤志により、神門前手水舎の自動水栓化工事を実施しました。



手水舎

裏千家献茶祭

十月五日

来る十月五日(木)、裏千家献茶祭が鹽竈神社左右宮拝殿において斎行されます。

当日は坐忘斎千宗室家元のお点前で濃茶・薄茶が点てられ、御神前に御供えされます。

祭典後は社務所全館で茶会が催され、主催する「茶道裏千家淡交会宮城支部」(藤崎三郎助支部長)をはじめ多くの門人が茶の湯を通じて交流を深めます。



志波彦神社 神職養成所 創立八十周年記念式典挙

六月二十七日、当社神職養成所創立八十周年記念式典が、市内グランドパレス塩釜において挙行されました。

神職養成所は、昭和三年、神職子弟の教育奨励と神職資質の向上を目的として設立された実務練習制度に始まります。

昭和十八年にそれまでの実務練習制度に代り神職養成所が設立され、今年で八十年の佳節を迎えました。

昭和二十年三月に第一回卒業式を挙行、以来、令和四年度迄六百十三名の若者を斯界に輩出しています。



所長式辞



感謝状贈呈

午後二時からの式典には来賓、当社責任役員総代、一森会会員、職員等六十三名が出席、所長式辞に続き、八甲田神社小笠原定彦名誉宮司、和歌浦天満宮小坂政男宮司、美瑛神社狩野貴美雄宮司に対し感謝状を贈呈しました。

記念公演として、一森会会員有志と職員による雅楽演奏が披露され、管絃壹越調「胡飲酒破」、舞楽「抜頭」が演奏されました。

祝宴の席では、歓談の後、菅原一森会会長の発声により一同万歳を三唱し、盛会裏に閉会となりました。

講社だより

塩竈千人講祭

六月二十五日、佐藤今朝吉講長以下五十名が参列しました。祭典後、永年継続表彰、新世話人への委嘱状の交付が行われました。

◇四十年表彰

(敬称略)

佐竹 利雄

◇十年表彰

菅原美弥子

委嘱状交付

世話人

赤間 政彦

講社大祭のご案内

来る十月七日(土)より

九日(月)にかけて講社大祭を斎行します。

県内はもとより、全国各地の講員が大神様に報恩の誠を捧げ、家内安全・商売繁盛を祈願します。

また期間中は神楽が奉納されます。

〈神楽奉納団体〉

七日 塩釜神楽

八日 栗原神楽

九日 檜崎法印神楽保存会

*それぞれ午前九時より午後二時頃まで

節分祭世話人会
会長就任奉告祭

節分祭世話人会佐藤武志会長の退任により、佐藤一臣氏が会長に就任となり、九月四日に会長就任奉告祭が斎行されました。

佐藤前会長は、平成二一年に世話人に就任、平成二十三年十月より会長を務められました。また佐藤新会長は平成六年に世話人に就任、平成二十三年に副会長となり会長を支えてきました。

祭典後、宮司より委嘱状が交付されました。



國學院大學
指定実習受入

九月四日より十日までの一週間、國學院大學の学生を受け入れ指定実習を実施しました。

本年は神道文化学科四年生の床宿道也君、三年生の齋藤陸君、佐々木伸幸君、星風君の四名が実習に臨みました。

祭式をはじめ、禊、鎮魂行法、奉製作業や祈禱奉仕に取組んでいました。最終日には、閉講奉告祭を奉仕し、実習が無事終った旨、御神前に奉告しました。



結婚
おめでとう
いいます

六月

仙台市 佐藤 容三
仙台市 齋藤 美映

宮城郡 岡本 陽一
東京都 山本 佳奈

遠田郡 渡邊 龍聖
栗原市 高橋 咲

仙台市 高橋 翔
仙台市 廣海はるか

宮城郡 齊藤 健吾
青森県 成田 真子

塩竈市 小野 真広
塩竈市 木皿 沙南

青森県 齊藤 純
黒川郡 清藤 文菜

大崎市 千葉 一貴
仙台市 成田 香

東京都 筋野 実
秋田県 嵯峨 晴美

岩手県 上村 健太
石巻市 志賀 春香

七月

スウェーデン王国
ロジタラプゼノズ
仙台市 マイケル
阿部亜希子

八月

オーストラリア連邦
グリーンノウマイコー
仙台市 遠藤 支
長野県 大和 盛幸
東松島市 村岡 理奈 (敬称略)



国家安泰 五穀豊穰 家内安全 祭事暦

(十月から十二月まで)

毎月

一日 朔 日 祭

六日 曲木神社月次祭

十日 御釜神社月次祭

二十九日 志波彦神社月次祭

十月

七日、九日 講社大祭

十七日 神嘗奉祝祭

十一月

三日 明治祭

十五日 七五三

二十三日 新嘗祭・初穂曳

十二月

一日 嘉津良比祭

三十一日 大祓式・除夜祭

安産祈願 海上安全 大漁満足

参拝記録

六月

五日

福生ロータリークラブ

三十五名

十七日

國學院大學法人事務局長
(二社) 國學院大學院友会総務部長

滝田忠之氏

川津浩一氏

二十三日

福本家兄弟会

八名

二十七日

一森会

三十名

七月

二十七日 岩手県神社庁花巻支部

二十二名

八月

二十八日

兵庫県・生石神社総代会

四名

〃

第三十四回初任神職研修会受講者

十六名

文芸欄

懐メロに少女の記憶夏あざみ

投函を終へて鼻歌秋夕々

ドラマのステイック捌き夏の星

昼寝覚め猫の尾つばを踏みし夢

でで虫や世相に疎き鄙ぐらし

荒波をかぶり泳いだ昭和かな

耳鳴りととけあつていく蟬時雨

かろき風には重すぎる桐一葉

一森の千木を止り木ほととぎす

梅酒瓶昭和日付の母の文字

菅原 和子

齋藤 豊子

佐藤 悦子

鈴木 ゆう子

大野 みよ子

大友 セツノ

上田 由美子

今田 須美子

今野 紀美子

及川 源作

奉納御礼

社名入テント

二間×三間

一張

一・五間×二間

一張

ウエイト用砂袋 三十個

鑄銭釜屋根修補

仙台市

有庄子

代表取締役 庄子 明彦 殿

多賀城市

東洋キャンパス

代表 鈴木 正規 殿



銅板奉納者芳名

多くの方々より銅板の奉納を頂きました。

六月

島根県

石川 眞弓

他 一三二名

七月

秋田県

加藤 大介

他 一〇七名

八月

福岡県

鈴木 大尊

他 一二三名

(敬称略)



人事異動

退職 (八月十日付)

社務員 伊藤 晶子

赤松

今年も残り三ヶ月、穏やかに過ごしたいものです。(慶)